

第33回 日本神経治療学会総会 特別企画
臨床研究デザインワークショップ

日程： 2015年11月27日(金)14時～
場所： 名古屋国際会議場
対象： 臨床研究や治験の実施を志す医療従事者
定員： 20名
費用： テキスト代実費(3000円)

本ワークショップは、臨床経験と臨床研究(治験)マインドを持つ医師およびメディカルスタッフの方を対象に、臨床現場の疑問からリサーチクエスチョンを立てる方法、さらには質の高い臨床研究計画を立案する方法を、実例とともに学ぶ企画です。

参加を希望される方は、参加登録申請用紙をFAXにて学会事務局まで送付してください。
2015年10月30日もしくは定員になり次第、締め切りさせていただきます。

プログラム

- 14:00～ 開会の挨拶(国立精神神経センター 中村治雅 先生)
14:05～ PECOを用いた研究疑問の構造化(国立精神神経センター 松岡 豊 先生)
14:35～ 演習「臨床疑問から研究疑問へ」
休憩
15:40～ 研究デザインを考える(国立精神神経センター 渡辺範雄 先生)
16:10～ 演習「研究デザインを作る」
17:10～ 演習「模擬研究テーマ発表会」
18:10～ 閉会の挨拶(名古屋大学 橋詰 淳 先生)

当日の午前中には、神経治療学会総会内のプログラムとして臨床研究に関するシンポジウムも開催いたします。初学者の方は、こちらにもぜひご参加ください。臨床試験や治験に関する知識が、より一層深まります！

演題名(予定)および演者一覧

- ★ 「なぜ臨床研究を行うのか」国立循環器病センター 山本晴子 先生
- ★ 「研究を行う上で知っておきたい非臨床試験のABC」名古屋大学 清水 忍 先生
- ★ 「統合指針を含む研究倫理の基本原則」東京理科大学理工学部 伊吹友秀 先生
- ★ 「臨床研究で必要となる統計学」名古屋大学 平川晃弘 先生

本ワークショップに参加された方は当日に限り、神経治療学会のすべてのプログラムにご参加いただけます。